

▼まちじゅうに広がる読書の輪 図書館が全国表彰



愛荘町の図書館 文部科学大臣表彰を受賞

愛荘町の図書館が、「子供の読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受賞しました。

この表彰は、子どもの読書活動の推進に優れた実践を行っている図書館を対象に贈られるものです。

本町の図書館は、これまで取り組んできた児童サービスや学校図書館との連携、読書環境づくりなどが高く評価されました。

また、町では昨年9月に「愛荘町まちじゅう読書の条例」を制定しており、地域全体で読書に親しむまちづくりを進めています。

今後も図書館では、子どもから大人まで読書を楽しめる取り組みを進めていきます。

▼やまいもの植え付けのため穴を掘る生徒 (写真左)



地域の伝統を学ぶ やまいも植え付け体験

5月11日、愛知高等養護学校の2・3年生が、町の伝統野菜「秦荘のやまいも」の植え付けを体験しました。

この取組は、秦荘やまいも振興会の皆さんが中心となり、地域の特産品を身近に感じてもらうと実施されたものです。

生徒たちは、穴開け器で深く穴を掘り、砂を入れた後、たね芋を丁寧に植え付けていきました。3年生は、昨年の経験を活かして2年生に植え方のコツを教える場面も見られ、学年を越えた交流の機会となりました。

参加した生徒たちは、「深く掘るのが大変だった」「今年も良いやまいもができてほしい」と話しながら、真剣な表情で作業に取り組んでいました。

▼高校生が地域への恩返しを形に



起業体験で販売した利益を町へ寄附

5月15日、滋賀県立愛知高等学校・愛知高等養護学校のボランティア部が運営する架空の「株式会社ECHI」が令和7年度事業の利益から「税金」に相当する3,950円を愛荘町へ寄附されました。

同団体は、両校の「地域共学」の理念を起業体験で実践するため、地域のイベントで地元農園と共同開発したおにぎりを販売されました。

贈呈式では、生徒会長の仁保 琉愛さんが「自分たちが商品を考え、物売る難しさを実感しました。寄附金を町の未来のために役立ててほしいです」と話されました。

有村町長は「皆さんの主体的な取り組みに感謝しています。今後の活動も期待しています」と激励しました。

▼児童たちの質問に丁寧に答える杉本さん



杉本 彩さんが「いのちの授業」

5月20日、秦荘東小学校で、公益財団法人動物環境・福祉協会Evaによる「いのちの授業」が行われ、女優で動物愛護活動家の杉本 彩さんが講師として来校されました。

授業では、動物と暮らす責任や命の大切さについて講演が行われ、児童たちは「相手の気持ちを考えることが大切」など、それぞれの思いを発表しました。

杉本さんは、自身の保護活動の経験を交えながら、「動物を幸せにするのも不幸にするのも人。思いやりのある大人になってほしい」と呼びかけられました。

講演会の後は、動物クイズやグループワークも行われ、児童たちは楽しみながら命や優しさについて学びを深めていました。

▼苗を手に笑顔を見せる児童 (愛知川小学校)



田んぼで学ぶ食と農 小学生が田植えに挑戦！

愛荘町内の各小学校では、児童たちが「育てる・収穫する・食べる」という一連の体験を通して、農業への関心を高め、食の大切さや地域とのつながりを学ぶ「たんぼのこ」事業を実施しています。

4月下旬から5月中旬にかけて、町内4つの小学校で、それぞれ田植え体験が行われました。

児童たちは地域の農家の皆さんに教わりながら、田んぼに入り、苗の一つひとつ丁寧に植えていきました。

初めて田んぼに入った児童からは、「泥の感触が面白い!」「泥が冷たくて気持ちいい!」といった声が上がリ、慣れない足元に苦戦しながらも、友達同士で声を掛け合いながら楽しく作業を進めていました。

▼丁寧に苗を植える児童 (秦荘東小学校)



また、「田んぼの中が思ったより深くて歩きにくかった」「苗をまっすぐ植えるのが難しかった」など、実際に田植えを体験した感想も聞かれました。

児童たちは、今回の活動を通して、農業の大変さや食べ物を育てる苦労を学ぶとともに、地域の自然や支えてくれる人たちの存在を身近に感じていました。

秋には稲刈り体験も予定されており、児童たちは今から収穫を楽しみにしています。



▼仲間とともに健康づくりを続けた受賞者の皆さん



あいしょうヘルスアクション!表彰式

5月26日、BIWA-TEKUアプリを活用し、家族や友人、職場の仲間とグループで健康づくりに取り組む「あいしょうヘルスアクション!」の表彰式を役場で行いました。

一般部門では「H&Yチーム」「健康推進員Aチーム」「ケイズテック」、事業所部門では「元気印チーム」「シガコアレスBチーム」「シガコアレスAチーム」が上位入賞し、有村町長から表彰状が手渡されました。

受賞者からは、「ウォーキングを続ける励みになった」などの声が聞かれ、参加者の皆さんが楽しみながら健康づくりに取り組まれました。健康推進課では、今秋に第2弾の実施を予定しています。

なお、本事業は厚生労働科学研究のモデル事業として実施しています。

▼愛荘町シルバー人材センター設立20周年記念式典



20年のあゆみ 地域を支える力に感謝

5月29日、愛荘町シルバー人材センター設立20周年記念式典が開催されました。

同センターは、町内の高齢者に就業機会を提供するとともに、会員の皆さんの健康で生きがいのある生活を支え、地域との豊かな交流を通じて、愛荘町のまちづくりに大きく貢献されています。

式典では、長年にわたり活動を続けられた岡山 定一さん、本屋 貴美子さんをはじめとする9名の会員の皆さんが表彰されました。また、会員で構成される「ミュージックベルDream」によるハンドベルの演奏も披露され、会場は温かな雰囲気になりました。20年にわたり地域を支えてこられた会員の皆さんの活動に、改めて感謝の気持ちを寄せる機会となりました。